

32 医療法人徳洲会 羽生総合病院

病院の概要

- 医師数 (研修医除く) 49名 (うち指導医数 11名)
- 病床数 311
- 研修医数 1年目6名 2年目4名
- 昨年度マッチング受検者数 9名
- 研修医の主な出身大学 帝京大学、群馬大学、筑波大学、東京医科大学、獨協医科大学、弘前大学、広島大学、信州大学、久留米大学
- 診療科 内科、循環器内科、消化器内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、小児科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、麻酔科、皮膚科、泌尿器科、漢方内科、眼科、救急科、歯科口腔外科、病理診断科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、呼吸器外科、呼吸器内科、臨床検査科、血液内科、神経内科、精神科、膠原病リウマチ科、臨床検査科、心理療教室、鍼灸室
- 1日平均外来患者数 610名
- 1日平均入院患者数 261.1名
- 主な認定施設 救急告知、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院など



研修プログラムの特色

高い倫理観と豊かな人間性、また常に科学的な妥当性や探究能力、それに社会発展に貢献する使命感と責任感を持った「全人的な医師」を育成することを研修の理念としています。研修プログラムは内科や救急、地域医療の必修科目以外にも外科や小児科、産婦人科、麻酔科、精神科等を研修するスーパーローテーション方式となっており、救急科の研修はローテーション科と並行して2年間継続して行うことで診療能力が格段に向上します。また、画一的なものだけでなく、個人の希望や特性に応じて柔軟に対応できるようになっています。



プログラム例 羽生総合病院初期臨床研修プログラム (募集定員 8名)

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週
1年目		内科		小児科		外科		内科				麻酔科
2年目			救急科		産婦人科	精神科		地域医療研修				選択科

必修: 救急科 12週、麻酔科 12週、外科 8週、自由選択 20週 (整形外科、脳神経外科、泌尿器科等)

研修医の処遇

給 与 1年次: 30万円/月 2年次: 40万円/月
 諸 手 当 当直手当、休日手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、家族手当等多数
 保 険 公的医療保険: 協会けんぽ 公的年金保険: 厚生年金
 労働者災害補償保険法の適用あり 医師賠償責任保険あり 雇用保険あり
 勤務時間 8:00~17:00 (当直、準夜勤、診療科別に別途確認)
 当 直 あり (0~1回/週) ※準夜勤へ移行
 休 暇 有給休暇 (年10日)
 宿 舎 病院契約にてあり、ご自身で契約も可能
 そ の 他 [賞与] 400,000円/1年次 640,000円/2年次

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・徳洲会グループ病院 (地域医療研修: 僻地病院)
- ・埼玉県済世会鴻巣病院 (精神科)
- ・医療法人至信会池沢神経科病院 (精神科)
- ・小児科: 千葉西総合病院
- ・緩和ケア: 札幌南徳洲会病院
- ・内科、救急科、外科、産婦人科、麻酔科は徳洲会系列病院でも研修可能

当院の魅力

臨床医としての哲学を形成していく

羽生総合病院の研修プログラムは臨床医としての哲学形成をしてゆく事を目的としています。狭い専門領域の知識を得るのではなく、臨床医として必要とされる基本的知識・考え方・手技を身に付けることを重点に置き、さらに患者および他の医療従事者との円滑なコミュニケーションを図ります。研修は、救急医療とプライマリケアを基盤としたスーパーローテーション方式で行います。このプログラムでは内科(24週間)、救急(12週間)、地域医療研修(全国の徳洲会連携病院にて8週間)の基本研修を44週間、選択必修である外科8週間、麻酔科12週間、産婦人科、小児科、精神科を各4週間研修し、その他期間20週間を希望選択科にて研修します。



研修責任者からメッセージ



高橋 健行
プログラム責任者
院長

羽生総合病院は小回りのきく病院で、各診療科の垣根がないのが特徴です。そのため、ある診療科にローテーションしているときに、別の診療科の医師に相談したり、質問したりすることもできます。少人数なのでフレキシブルにローテーションを変更することもでき、研修医ひとり一人の「学びたい!」をバックアップする事も可能です。マイペースで医師としての基礎を身に付けていきたいという人には、向いている病院だと思います。一緒に成長していきましょう。

先輩研修医からメッセージ



稲邊 拓郎
研修医1年目

当院は1年研修医6人、2年研修医4人の合計10人からなります。来年度からは募集枠が8人となりました。他の病院より少数ではありますが、その分個人の成長に合わせた指導をしていただけるというメリットがあります。特に救急では(上級医の元で)自分で目の前の患者さんの診察、鑑別、検査、そして治療までを考えるとでき、かなり自主性を鍛えることができると思います。是非当院へ一度見学し、現場で働く研修医の姿を見ていただくと幸いです。



松元 隆幸
研修医1年目

羽生総合病院は埼玉といっても北関東の田舎の病院です。近年関東近辺が人気なマッチング情勢下にあってもそこまでの倍率にならなかったためか、昨今においては若干倍率が上がりつつある元穴場の病院でもあります。徳洲会グループということもありハイパーなイメージを持たれがちです。確かに少人数体制、研修医の裁量権が大きいなど忙しい面はありますが、救急外来で入院を決めた患者さんを退院までフォローできる一貫した診療体験を初期研修一年目から体験できるのは大きな経験となると思います。気になる方はぜひ、一度見学にご来院ください。

女性医師支援コーナー

産前産後休暇・育児休暇は勿論のこと、職場復帰後の短時間勤務・当直免除制度があります。また病院より車で5~6分の所に職員専用の保育所(2023年度には敷地内へ移設予定有)の利用も可能ですので、安心して勤務していただける環境が整っています。ライフワークに合わせた勤務形態が相談可能となっておりますので、ぜひ一度ご連絡下さい。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。(交通費: 宿泊費は当院負担にて相談可) まずはお気軽に担当者までメールにてお問い合わせ下さい。

連絡先 医療法人徳洲会 羽生総合病院、臨床研修担当 戸ヶ崎/川口
 住所 〒348-8505 埼玉県羽生市下岩瀬 446 番地
 TEL 048-562-3003 (直通)
 FAX 048-563-2170
 E-mail resident_doctor@fureaihosp.or.jp
 URL https://www.hanyu-resident.com/
 アクセス 東武伊勢崎線羽生駅から徒歩18分・バス5~6分

